

大庄中部地域の
まちづくりの
あり方

安全・安心で快適な暮らしを 未来につなげるまちづくり

旧大庄西中学校
敷地活用の方向性と
3つの活用
コンセプト

貴重な空間資源を 地域の未来のために

～ 活動を広げ、市民をつなぐ拠点づくり ～

- ・それぞれの活用コンセプトに沿った複合的な施設の整備
- ・整備される建物・公園は災害時の避難場所としても機能

ひととまちをつなぐ 地域活動の拠点づくり

●地域の活動拠点

[いつでも誰もが多機能に使用できる
施設、地域活動団体の事務所]

●地区会館/体育館/支所 /図書館等の複合施設

[地域にある公共施設の集約建替え]

●公園

[地域の一時避難地や緑化にもつながる公園、多世代が利用できるような公園、イベント時にも利用できるような公園、南ノロ公園の移転]

- 学校の記念碑
- 学校の思い出となる
樹木や構造物の保全

- 利用可能な
既存スポーツ
施設の活用

- 子どもの居場所[自由に集える場]
- 中高生の遊び場所
- 多世代が交流できる場所
- フェンスつきグラウンド
[子ども達がボール遊びできる場所]
- 高齢者福祉施設
[地域の多くの高齢者が利用できる施設]
- 介護体験施設

学校の思い出と
みどりのある
憩いの空間づくり

子どもが健やかに育ち、
高齢者が安心して過ごせる
場所づくり